

8月24日(月)、25日(火)の基準価額の下落について

8月の中盤に中国の中央銀行である中国人民銀行が人民元の対ドルの為替レートを下落させる方向に誘導したことをきっかけに、中国経済がこれまでの想定されていた以上に減速しており、世界経済の下押し要因となるのではないかという懸念が高まっていました。また、米国や欧州などの先進国でも景気に力強さが見られず、先行きへの楽観的な見方が後退する中で、先週末に中国で景気の一段の減速を示す指標が発表されたことをきっかけに、金融市場でリスクを避ける動きが強まり、世界の株式市場は、大きく下落しました。また、為替市場でも、リスク資産へ投資する際の資金調達通貨となっていた円やユーロが上昇する一方で、利上げ観測が後退したドルが下落し、対ドルで円高が進行致しました。

この度の金融市場の大きな変動は、金融システムの危機や実体経済の大きな変化を原因とするものではなく、金融市場の参加者の先行きへの見方が楽観的なものから悲観的なものへ変わったことを受けて発生しているものであり、当社ではこれまでと同じ姿勢で投資を継続して参ります。

当社が運用する各ファンドの直近の基準価額の動向と投資方針は下記の通りとなっておりますので、引き続き、長期的な視点で投資のご判断を行って頂きますようお願い申し上げます。

セゾン・バンガード・グローバランスファンドの基準価額の下落要因と今後の投資方針

債券ファンドがほぼ変わらずとなったものの、株式ファンドの下落と対ドルでの円高を受けて、基準価額は下落しました。株式市場の下落により組入れ比率の低下した株式ファンド購入し、相対的に組入れ比率が高まった債券ファンドを一部売却することでリバランスを行って参ります。

基準価額の推移

- ・8月24日(月)：13,564円(前日比-235円/約1.7%の下落)
- ・8月25日(火)：13,172円(前日比-392円/約2.9%の下落)

セゾン資産形成の達人ファンドの基準価額の下落要因と今後の投資方針

世界的な株式市場の下落を受けた投資先ファンドの下落と、対ドルでの円高を受けて、基準価額は下落しました。当ファンドでは、短期的な市場の動向に左右されることなく、長期的な視点で投資対象の価値を重視して株式投資を継続することが長期的な資産形成に資するものと考えておりますので、投資先ファンドを通じて株式への投資を継続して参ります。

基準価額の推移

- ・8月24日(月)：16,775円(前日比-477円/約2.8%の下落)
- ・8月25日(火)：15,989円(前日比-786円/約4.7%の下落)

2015年8月25日

セゾン投信株式会社

運用部長/ポートフォリオマネージャー

瀬下 哲雄